

| 科目区分 | 専門基礎分野 | 科目名 | 疾病治療論Ⅴ (運動器、リハビリテーション) | 対象学生 | 第1学年 |
|------------|---|----------|---------------------------|------|------|
| | | 単位数(時間数) | 1単位(15/30時間) | 学 期 | 第2学期 |
| 担当講師 | 院内講師 | | | | |
| 科目目標 | 生活上の障害を最小限にするためのリハビリテーションの概念・方法を理解する。 | | | | |
| 授業計画 | <p>第1～7回 リハビリテーション概論 (講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動器系の障害とリハビリテーション ・中枢神経系の障害とリハビリテーション ・呼吸・循環器系の障害とリハビリテーション ・関節可動域 (ROM) ならびに測定方法 <p>第8回 終了試験</p> | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験 | | | | |
| テキスト | 系統看護学講座 成人看護学 運動器疾患 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 | | | | |
| 講師からのメッセージ | 人体の正常な形態と機能を基礎として、病的状態におこる構造と機能異常の関係や発生機序、診断方法、治療方法と予後について学習する。骨折、脱臼、捻挫 骨粗鬆症 腫瘍(骨肉腫) 変形性関節症 腰痛症(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)、炎症性疾患(骨・骨髄炎、関節炎) 筋ジストロフィー 重症筋無力症、リハビリテーションの定義、リハビリテーションにおける看護の役割、機能障害と分類、生活機能障害とADL、居住環境、廃用症候群の予防、ADL・活動範囲の拡大に向けた援助、補助具・自助具の活用、心理的葛藤への援助、多職種連携、身体障害者福祉法に基づく社会資源の活用就労支援・環境の調整 社会参加を促す要因と阻害要因、国家試験出題基準を確認し学習すること。 | | | | |